

レビューシート(事業改善型)

様式 1

レビュー項目 (事業名)	食品ロス削減に向けたひょうごフードドライブの全県展開				部(局)	環境部				
					所管課	環境政策課				
					担当班	政策班				
					連絡先	078-362-3156				
開始年度	令和2年度	終了年度	—	関連計画等	兵庫県地球温暖化対策推進計画(R4.3改定)					
事業区分	☒ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()					実施主体等	県			
事業目的	家庭で余っている食品をごみにせず、それを必要とする福祉団体等に寄附するフードドライブの取組を根付かせるため、「ひょうごフードドライブ」として普及啓発や新規参入者への補助を実施し、全県展開を図る									
事業概要	(1) ひょうごフードドライブ推進ネットワークの運営 (スーパー店舗や福祉団体とのマッチング、市町への支援、新規参入の拡大等) (2) 普及啓発(啓発資材の作成、広報等) (3) スタートアップ支援(経費補助、情報提供)									
これまでの改善状況	○回収拠点拡大に向けたスーパー、市町等への働きかけ強化 ○フードドライブ拠点マップの作成・公開 ○ひょうご1.5℃ライフスタイルの取組と連動した啓発活動 ○福祉部局との連携(福祉部の連携体制推進会議への参画、事業者開拓等)									
業務フロー	【フードドライブの流れ】 拠点での食品受付→フードバンク等による回収・運搬→フードバンク等での管理・仕分け→福祉施設等への配送→福祉施設等での食事提供・食品配布 【フードドライブの啓発】 ・webサイト等でのフードドライブ拠点店舗の周知 ・ひょうごフードドライブ推進ネットワーク間の情報共有 ・各種イベントなどでの啓発活動 等									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額		5年度決算額		6年度決算額		7年度当初予算額	
	事業費①		1,752 千円		2,604 千円		2,689 千円		2,864 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	832 千円		766 千円		2,172 千円		2,064 千円	
		補助金・交付金	4 千円		0 千円		12 千円		800 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	916 千円		1,839 千円		505 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(873千円)		(972千円)		(1,108千円)		(1,032千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(879千円)		(1,632千円)		(1,845千円)		(1,832千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		3,523 千円		3,172 千円		3,172 千円		2,864 千円	
	執行率((①/②)×100)		49.7%		82.1%		84.8%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.0人	従事人員	1.2人	従事人員	1.2人	従事人員	1.2人
			0 千円		9,900 千円		10,464 千円		10,796 千円	
			職員給与費 a	0 千円	8,587 千円	9,119 千円	9,484 千円			
			賞与引当金繰入額 b	0 千円	713 千円	700 千円	713 千円			
		退職手当引当金繰入額 c	0 千円	600 千円	646 千円	600 千円				
総コスト(①+③)		1,752 千円		12,504 千円		13,153 千円		13,660 千円		

レビューシート(事業改善型)

様式 1

	指標名	区 分	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 目標	最終目標 【年度】
評	成果指標(アウトカム指標①) フードドライブ拠点数(拠点) ※R5まではスーパー店舗のみ R6よりコンビニ・市町村協実施拠点等 を含む	目 標	200	250	450	500	650
		実 績 (見 込)	160	164	388	(388)	【R10年度】
		(単位当たりコスト)	(11 千円)	(76 千円)	(34 千円)	(35 千円)	
		達 成 率 (見 込)	80.0%	65.6%	86.2%	(77.6%)	
価	成果指標(アウトカム指標②) 食品回収量(トン)	目 標	48	60	93	124	150
		実 績 (見 込)	63	67	59	(59)	【R10年度】
		(単位当たりコスト)	(28 千円)	(187 千円)	(223 千円)	(232 千円)	
		達 成 率 (見 込)	131.3%	111.7%	63.4%	(47.6%)	
指	成果指標(アウトカム指標③)	目 標					
		実 績 (見 込)					
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達 成 率 (見 込)	—	—	—	—	
指	活動指標(アウトプット指標①) スタートアップ支援事業補助件数 (件)	目 標	32	32	32	32	32
		実 績 (見 込)	1	0	1	(1)	【R10年度】
		(単位当たりコスト)	(1,752 千円)	—	(13,153 千円)	(13,660 千円)	
		達 成 率 (見 込)	3.1%	0.0%	3.1%	(3.1%)	
指	活動指標(アウトプット指標②) 啓発実施回数(回)	目 標	15	20	25	25	25
		実 績 (見 込)	15	21	25	(25)	【R10年度】
		(単位当たりコスト)	(117 千円)	(595 千円)	(526 千円)	(546 千円)	
		達 成 率 (見 込)	100.0%	105.0%	100.0%	(100.0%)	
指	活動指標(アウトプット指標③)	目 標					
		実 績 (見 込)					
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—	
		達 成 率 (見 込)	—	—	—	—	
標	終期設定	有 () ・ (無)					
標	改善基準						
自	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・子ども食堂や福祉施設等でのニーズは大きく、食品ロスの削減にもつながる不可欠な取組である。 ・大手スーパーへの積極的な働きかけにより実施拠点数は順調に増加。今後はコンビニや社協など対象範囲を拡げ、拠点拡大を図る必要がある。 ・新たに実施する企業にとっては、負担増(寄付食品の適切な管理や仕分け、引き渡し先との調整等)が課題となっており、現在のスタートアップ支援の補助では十分にカバーができていない。		・フードドライブの認知度が低い(R4.4消費者庁調査:認知度18.6%)ため、情報発信、啓発活動を強化するとともに、コンビニなど身近な店舗への協力を働きかけて回収拠点を拡大し、利便性の向上を図る必要がある。 ・スタートアップ支援事業は補助件数が少なく十分に活用されていない。今後はスタートアップに限らず、継続的な実施の支援につながる制度への見直しが必要である。 ・フードドライブの定期的・継続的な実施のためには、回収拠点における負担を軽減する支援策が求められる(経費補助、情報提供等)。 (※消費者庁による「食品寄附ガイドライン」において、食品の安全性確保への対応や受付・保管・配送などの管理体制の整備が新たに求められ、それに対応するための支援強化が必要。)		
己	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・推進月間を設け、県庁舎をはじめ店舗や他自治体でも回収キャンペーンを実施し、取組を強化。 ・県が、店舗(回収拠点)と福祉団体(配布先)の仲介役としてサポート。(マッチング、課題整理、合意文書等の手続き支援)				
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 (県下全域にフードドライブを浸透させるため、普及啓発の一層の取組強化を行うとともに、現在十分に活用されていないスタートアップ補助事業について補助対象や対象経費の見直しなど、あり方を含めて検討する。)						
評							
価							
外							
部							
委							
員							
会							
意							
見							
改善結果							